

北摂三田高+31名、三田祥雲館高+1名

今年の公立高校受験は三田市内上位2校、北摂三田高校・三田祥雲館高校で、予想外の競争率になりました。北摂三田高は昨年の第1志願定員割れから一転して31人オーバー。8年前の57人オーバー以来の厳しい倍率になりました。一方三田祥雲館高は過去30年で2番目に少ないオーバー数。北摂三田高の志願者増の一因として上げられるのは新年度からの「制服着用義務の撤廃」があると考えられます。文武両道の堅苦しいイメージを払拭する起爆剤となって、来年度以降もこの傾向は続くのではないかと考えられます。

さて、新中3生にとっては「これまでで最も重要な1学期」が始まります。

- ①「行きたい高校を決めること」
 - ②「必要な通知表評価を知ること」
 - ③「今やるべきことを自覚すること」
- 4月中にこの三つを認識できれば受験に向けて好スタートが切れます。残り日数は358日。〔野垣勝彦〕

3月・4月のおもなスケジュール		
3/23	土	3月度授業終了
24	日	自習室開室 (12:00~18:00)
25	月	春期講習スタート
4/6	土	春期公開テスト(新小4~新中2)(予定)
7	日	春期公開テスト(新中3)(予定)
8	月	1学期授業開始
13	土	附属池田高校進学説明会 やる気UP講座(中1)
14	日	自習室開室 (12:00~18:00)
20	土	やる気UP講座(中3)
21	日	自習室開室 (12:00~18:00)
27	土	中1保護者会・高1保護者会 やる気UP講座(中2)・ほしぞら合宿①
28	日	自習室開室 (12:00~18:00) ほしぞら合宿②
29	月	昭和の日【授業あり】
30	火	【休室】

世界の解像度

暖かな日が増えて、春の訪れを感じられるようになってきました。桜の花を見てみなさんは何を思い浮かべますか。入学式、卒業式、吉野の山、桜餅、花見など、いろいろなイメージにつながることでしょう。これらはすべて「自分の経験」の中から出てくるものです。

デジタル映像の細かさを表す指標に解像度があります。わかりやすく言うと「絵を描くときの粒の細かさ」です。私たちが世界を見るときも、人によってこの「解像度」が違ってきます。あるものを見たときにそこから受け取る情報一つひとつが「粒」だと考えれば、多くの経験を持った人の方が世界の解像度が上がるというわけです。なんてことない経験も大切にしていきたいですね。〔金子祐太〕



16時入試終了→19時テレビ解説
たぶん日本一早い特進館学院提供の「兵庫県公立高校入試解答速報」。恒例の特進館『入試問題予想』は、今年も、ほぼ全問的中させたゾ〜！

2月の“自習王”決定!

- ★中学生の部
中3 蛭子 実音 141.0 時間
- ★高校生の部
高3 清原 昊太 86.8 時間

趣味っていいね

歴史上様々な偉人が出てきましたが、その中の一人に「フェルマー」という人物がいます。この人物はもともと政治の世界にいた人物ですが、趣味が数学なのです。数学に没頭した結果「フェルマーの最終定理」という数学界における世界最大の難問を作りました。それが解かれたのはなんと360年後です！趣味が新たな自分の可能性を生むこともあるのかもしれないね。

〔福本翔太〕

4月分 学費の振替

3月
27日
(水)

春期講習のご案内を配布しております。講習費につきましては、お手数ですが当学院指定口座までお振込みをお願いいたします。4月分学費詳細につきましては明細のご確認をお願いいたします。

「偶然」と「必然」



ずっと前に、「セレンディピティ」というお話をさせていただいたことがあります。幸運にめぐり合うのは単なる偶然でなく、「その人の能力」という考え方のことです。目先の失敗で凹まずに、常にプラス志向で考えることで幸運や成功が訪れる。今回は、「偶然」と「必然」についてのお話です。身の周りで起きるさまざまな出来事で、「たまたま偶然」と思えることが多々ありますが、それって本当に偶然でしょうか？

関門海峡に生息する「平家ガニ」。その甲らは、まるで人が嘆き怨むような模様で、壇ノ浦の合戦で滅亡した平家の亡霊が乗り移ったという言い伝えから、地元の人々に恐れられていました。ところが、1952年にアメリカの科学者が、怨霊を信じる地元の人々が、「顔に似た模様のカニが網にかかると、恐がって海に放つ」という行為が長年繰り返されたために生き残るチャンスが増えて、人の顔に似て来たのだという説で大きな話題となりました。これを「人為選択的進化論」と言い、平家ガニの甲らの怖い顔の模様は、「偶然ではなく必然できた」という学説です。良いことも悪いことも、「たまたま偶然ではなく、私たちの日々の行動の結果で起こる必然の現象なんだ」と、あらためて考える今日この頃です。〔北村昌弘〕

代表北村の独り言

特進館学院の、お金を掛けないPR活動「校門前配布」。毎年3回、もう10年以上も地道に続けています。ところが、毎回生徒が全く受け取ってくれない中学が2校。どうやら私たちの事前通知書が届くと、生徒たちに受け取るなど警告している様子。敷地外実施で、清掃や道路使用許可とかきちんとやっつてのに、これって威力業務妨害罪では？ということで、顧問弁護士の先生と打合せ中。学校の先生と、裁判とかやりたくないよなあ。(･･)

編集 後記

卒業や入学の時期になりました。長いコロナ禍を経て、今年の式典では数年ぶりに校歌や卒業ソングの斉唱・合唱を行う学校が増えているようです。コロナ禍で歌う機会が少なく、校歌の歌詞を問う音楽のテストで苦戦した生徒さんも多かったという話を懐かしく思いながら、歌のある式典は子どもたちにとってもより思い出深いものになるのではないかと思います。人数制限のあった保護者の参列も制限が緩和され、にぎやかに節目を迎えられるのも嬉しいことです。願わくば、晴天のもとその日を迎えたいですね。